

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成26年 6月27日

兵庫県知事 殿

提出者

住 所 神戸市兵庫区笠松通9丁目2番19号

氏 名 近畿菱重興産株式会社

代表取締役 小川 卓治

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 078-672-4287

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	28JS000281 近畿菱重興産株式会社
事業場の所在地	神戸市兵庫区笠松通九丁目2番19号
計画期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	0611 一般土木建築工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 4,438,631,762円
③従業員数	426人 (平成26年4月時点)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成 25 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙3-①のとおり
	排 出 量	t
	(これまでに実施した取組) ・がれき類は計画時より発生量を低減させ、ダンボール・スクラップについては有価売却を実施 ・梱包材の低減化（極力梱包はしない） ・余剰材の発生抑制	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙3-①のとおり
	排 出 量	t
	(今後実施する予定の取組) ・上記の取り組みを引続き実施	

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・受注額 25 百万円以上の施工現場において産業廃棄物（金属・石膏ボード・ダンボール）の分別を実施 ・分別作業の強化を図るため環境パトロールの実施（2ヶ月毎）
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・上記の取り組みを引続き実施

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成 25 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙 3-②のとおり
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組) 特になし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙 3-②のとおり
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組) 特になし	

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（平成 25 年度年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙 3-③のとおり t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t t
(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙 3-③のとおり
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t t
(今後実施する予定の取組) 特になし		

## (第4面)

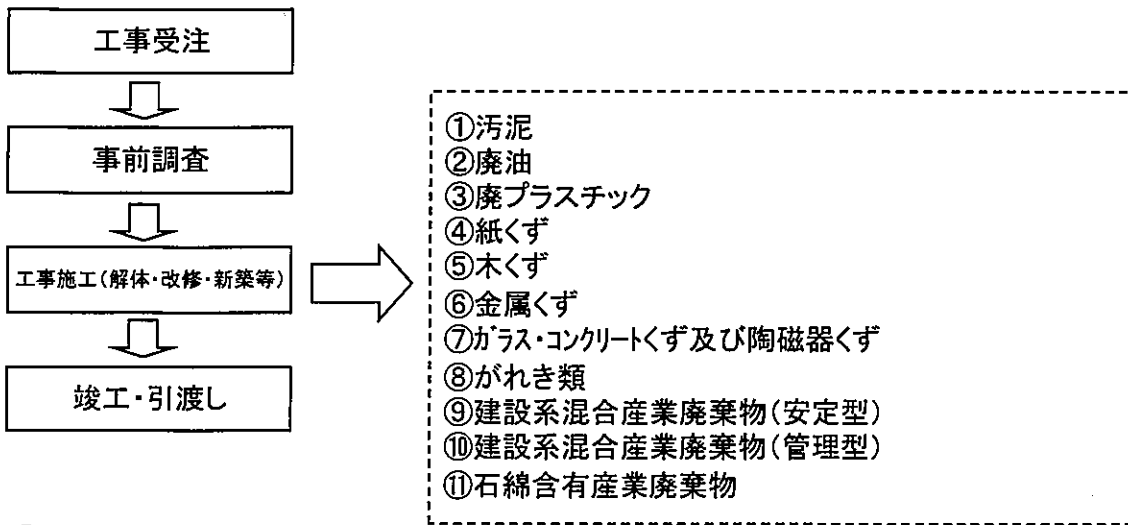
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
①現状	【前年度（平成 25 年度年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙3-④のとおり t t
	(これまでに実施した取組) 特になし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙3-④のとおり t t
	(今後実施する予定の取組) 特になし	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
①現状	【前年度（平成 25 年度年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	別紙4のとおり t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(これまでに実施した取組) ・電子マニフェスト制度の導入 ・処理委託業者に対する現地確認の実施	

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
引き続き下記の取り組みを実施 ・電子マニフェスト利用率(100%)の維持 ・優良認定処理業者の利用率向上と委託開拓			
※事務処理欄			

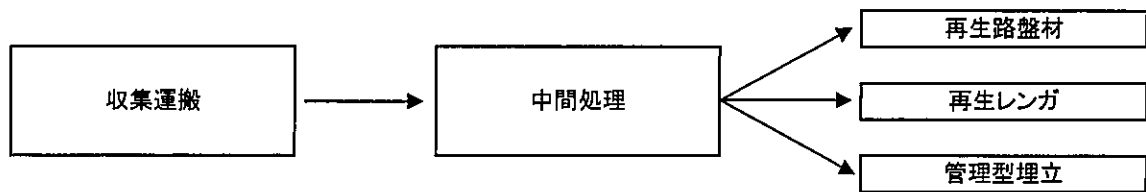
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

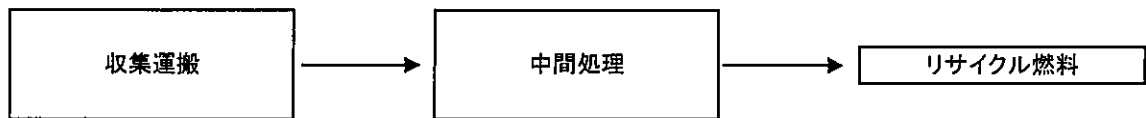
○産業廃棄物の一連の処理工程



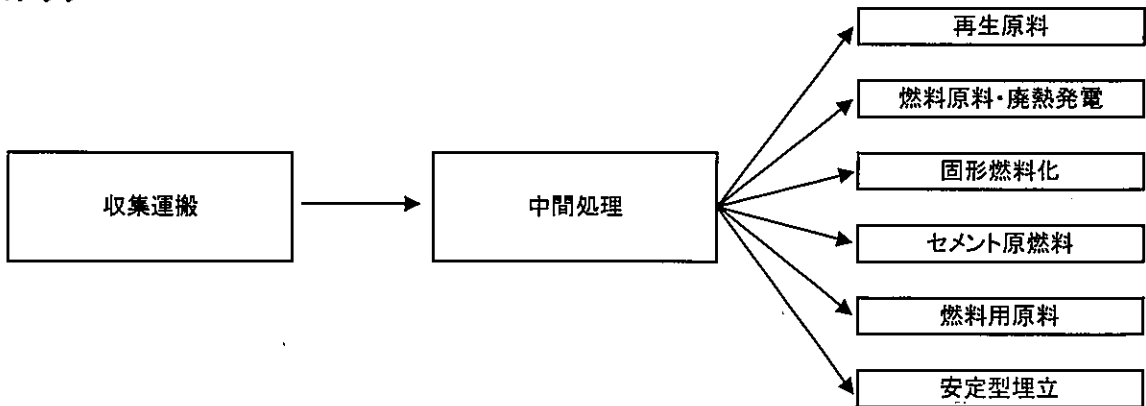
①汚泥



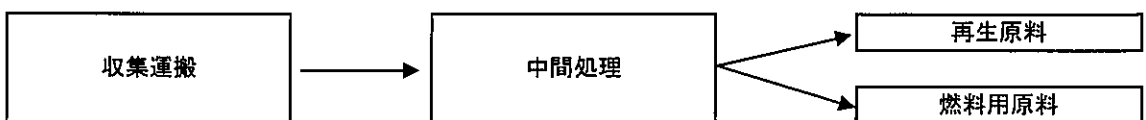
②廃油



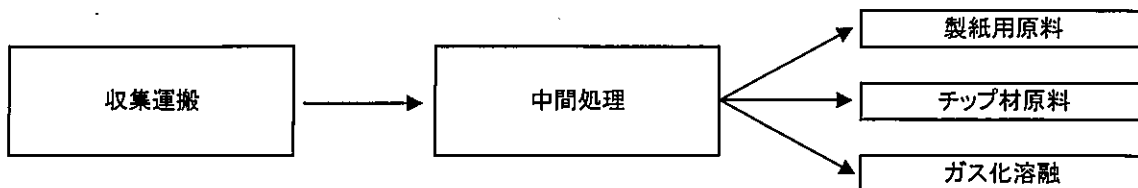
③廃プラスチック



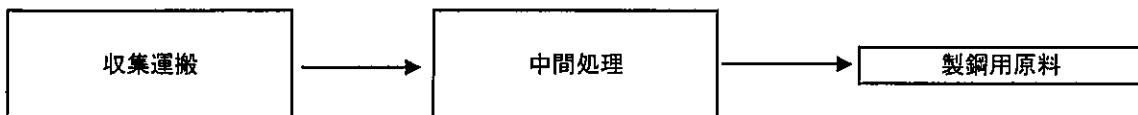
④紙くず



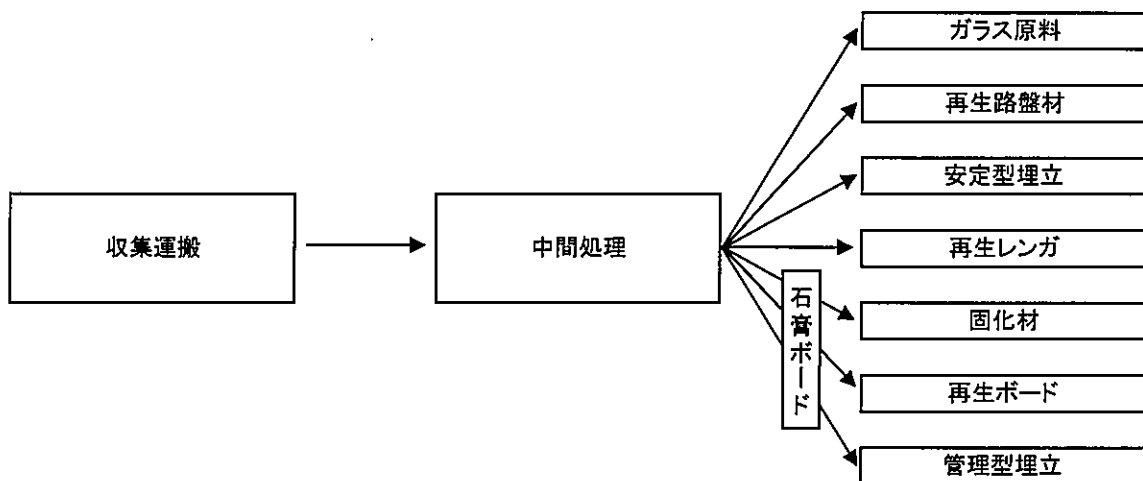
⑤木くず



⑥金属くず



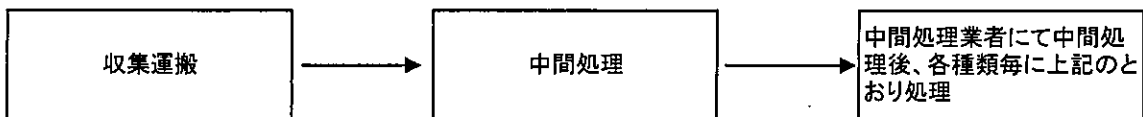
⑦ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず



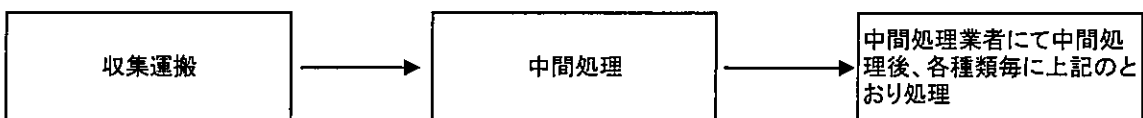
⑧がれき類



⑨建設系混合産業廃棄物(安定型)

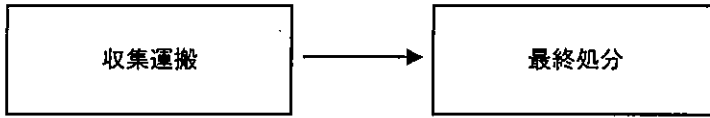


⑩建設系混合産業廃棄物(管理型)

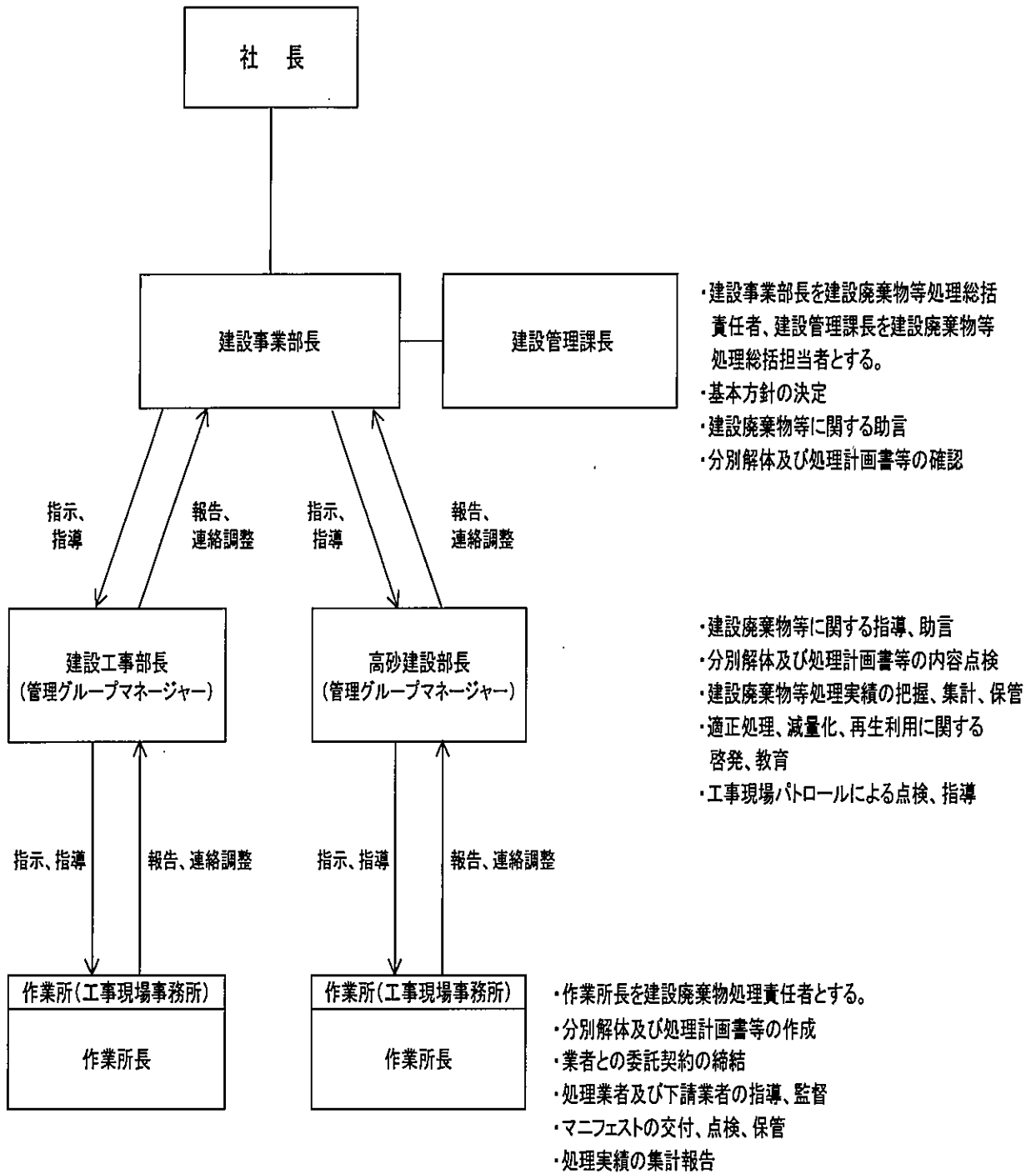




⑪石綿含有産業廃棄物



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙3-①

○ 現状 前年度（平成25年度）実績

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
排出量	20.0 t	7.7 t	2.3 t	106.5 t	4.5 t	92.4 t
産業廃棄物の種類	がれき類	建設系混合廃棄物（安定型）	建設系混合廃棄物（管理型）			
排出量	5563.4 t	0.13 t	207.0 t			

○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
排出量	19.8 t	7.6 t	2.2 t	105.4 t	4.5 t	91.5 t
産業廃棄物の種類	がれき類	建設系混合廃棄物（安定型）	建設系混合廃棄物（管理型）			
排出量	5507.8 t	0.12 t	204.9 t			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

別紙3-②

○ 現状 前年度（平成25年度）実績

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	がれき類	建設系混合廃棄物（安定型）	建設系混合廃棄物（管理型）			
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t			

○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	がれき類	建設系混合廃棄物（安定型）	建設系混合廃棄物（管理型）			
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

別紙3-③

○ 現状 前年度（平成25年度）実績

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
自ら中間処理を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	がれき類	建設系混合廃棄物（安定型）	建設系混合廃棄物（管理型）			
自ら中間処理を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t			

○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	がれき類	建設系混合廃棄物（安定型）	建設系混合廃棄物（管理型）			
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事

別紙3-④

○ 現状 前年度（平成25年度）実績

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	がれき類	建設系混合廃棄物（安定型）	建設系混合廃棄物（管理型）			
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t			

○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	がれき類	建設系混合廃棄物（安定型）	建設系混合廃棄物（管理型）			
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t			

## ○ 現状 前年度(平成25年度)実績

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
全処理委託量	20.0 t	7.7 t	2.3 t	106.5 t	4.5 t	92.4 t
優良認定処理事業者への処理委託量	20.0 t	6.3 t	2.3 t	3.5 t	4.5 t	0 t
再生利用者への処理委託量	20.0 t	4.4 t	2.3 t	101.4 t	4.5 t	92.4 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の種類	がれき類	建設系混合廃棄物(安定型)	建設系混合廃棄物(管理型)
全処理委託量	5563.4 t	0.13 t	217.0 t
優良認定処理事業者への処理委託量	2210.4 t	0.13 t	138.7 t
再生利用者への処理委託量	5184.4 t	0.05 t	97.7 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t

## ○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
全処理委託量	19.8 t	7.6 t	2.3 t	105.4 t	4.5 t	91.5 t
優良認定処理事業者への処理委託量	19.8 t	6.2 t	2.3 t	3.5 t	4.5 t	0 t
再生利用者への処理委託量	19.8 t	4.4 t	2.3 t	100.4 t	4.5 t	91.5 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の種類	がれき類	建設系混合廃棄物(安定型)	建設系混合廃棄物(管理型)
全処理委託量	5507.8 t	0.13 t	214.8 t
優良認定処理事業者への処理委託量	2188.3 t	0.13 t	137.3 t
再生利用者への処理委託量	5132.6 t	0.05 t	96.7 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t